

資料1. 檜原村地域新エネルギービジョン策定の経過

1. 策定に係わる各種委員会

(1) 策定委員名簿

	氏名	職種別	備考
1	田中 秀雄	東京農工大学客員教授	委員長
2	井内 正直	(財)電力中央研究所 社会経済研究所 主任研究員	副委員長
3	野村 栄一	地場産業経験者(木材製材所)	
4	小池 猛	東京電力株式会社 立川支社 副支社長	
5	久保田 一弘	エネルギー供給事業者(LP ガス)	
6	小林 司朗	檜原村教育委員会 委員長	
7	山崎 哲彦	住民代表	
8	清水 久巳	東京都森林組合 専務理事	
9	森田 茂	農林業・商工関係者(商工)	
10	数馬 守	檜原村総合窓口課長	
11	竹下 政弘	(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構 エネルギー対策推進部 主査	オブザーバー
12	渋谷 幸弘	経済産業省 関東経済産業局資源 エネルギー環境部 エネルギー対策課 新エネルギー対策官	オブザーバー

(2) 庁内専門委員名簿

	氏名	職種別	備考
1	坂本 義次	檜原村村長	委員長
2	鈴木 留次郎	檜原村助役	副委員長
3	坂本 秀一	檜原村教育委員会教育長	
4	乙津 好男	檜原村総務課長	
5	吉本 昂二	檜原村ふれあい課長	
6	高木 澄夫	檜原村教育委員会教育課長	
7	峰岸 茂	東京都檜原都民の森管理事務所長	

(3) 事務局名簿

	氏名	職種別	備考
1	高取 弥三郎	檜原村産業環境課長	
2	野村 雅巳	檜原村産業環境課産業係長	
3	中村 廣行	檜原村産業環境課産業係	

2. 策定経過

開催回数	開催日時	主要議題
第1回	平成18年10月18日	1.ビジョン策定にあたっての基本的な考え方 (1)調査検討事項 (2)調査検討手順 (3)全体スケジュール 2.委員会開催予定と主要議題について 3.エネルギーに関する地域住民意識調査について ・アンケート調査票(案) 4.その他
第2回	平成18年11月21日	1.アンケート調査の進捗報告 2.調査結果の報告 (1)ビジョン策定の基本方針 (2)檜原村の地域特性の把握・分析調査 (3)新エネルギーの特性と動向 (4)エネルギー需給構造調査 (5)新エネルギー賦存量・期待可採量調査 (6)助成金制度 3.先進地調査について
—	平成18年12月5日	1.先進地調査 (1)西川地域木質資源活用センター(もくねん工房) (2)利平茶屋森林公園小水力発電
第3回	平成18年12月19日	1.導入目標量・基本方針の考え方 2.アンケート調査の集計結果 3.重点プロジェクト(案)の抽出
第4回	平成19年1月25日	1.ビジョン全体の取りまとめ 2.概要版(案)

資料2. 住民意識調査

問 1. あなたご自身についてお聞きします。

(1) あなたの性別について教えてください。

<input type="checkbox"/> 男性	<input type="checkbox"/> 女性
-----------------------------	-----------------------------

	回答数	構成比
男性	130	81%
女性	28	17%
無回答	3	2%
計	161	100%

(2) あなたの年齢について教えてください。

<input type="checkbox"/> 10代	<input type="checkbox"/> 20代	<input type="checkbox"/> 30代	<input type="checkbox"/> 40代	<input type="checkbox"/> 50代
<input type="checkbox"/> 60代	<input type="checkbox"/> 70代	<input type="checkbox"/> 80代以上		

	回答数	構成比
10代	0	0%
20代	1	1%
30代	7	4%
40代	18	11%
50代	45	28%
60代	37	23%
70代	36	22%
80代以上	16	10%
無回答	1	1%
計	161	100%

(3) 職業について教えてください。

<input type="checkbox"/> 会社員	<input type="checkbox"/> 自営業(商工業)	<input type="checkbox"/> 農林業	<input type="checkbox"/> 公務員	<input type="checkbox"/> 主婦
<input type="checkbox"/> 学生	<input type="checkbox"/> アルバイト(パート)	<input type="checkbox"/> 無職	<input type="checkbox"/> その他()	

	回答数	構成比
会社員	35	21%
自営業(商工業)	31	19%
農林業	11	7%
公務員	8	5%
主婦	9	6%
学生	0	0%
アルバイト(パート)	11	7%
無職	42	26%
その他	15	9%
無回答	1	1%
その他具体的に	0	0%
計	163	100%

(4) あなたのお住まいの地区について教えてください。

<input type="checkbox"/> 東部地区	<input type="checkbox"/> 南郷地区	<input type="checkbox"/> 人里地区	<input type="checkbox"/> 数馬地区	<input type="checkbox"/> 共励地区
<input type="checkbox"/> 小沢地区	<input type="checkbox"/> 樋里地区	<input type="checkbox"/> 藤倉地区		

	回答数	構成比
東部地区	36	23%
南郷地区	29	18%
人里地区	18	11%
数馬地区	9	6%
共励地区	23	14%
小沢地区	23	14%
樋里地区	9	6%
藤倉地区	8	5%
無回答	5	3%
計	160	100%

(5) あなたを含み、一緒にお住まいのご家族人数について教えてください。

<input type="checkbox"/> 1人	<input type="checkbox"/> 2人	<input type="checkbox"/> 3人	<input type="checkbox"/> 4人	<input type="checkbox"/> 5人
<input type="checkbox"/> 6人	<input type="checkbox"/> 7人	<input type="checkbox"/> 8人	<input type="checkbox"/> 9人以上	

	回答数	構成比
1人	15	9%
2人	62	39%
3人	34	21%
4人	15	9%
5人	16	10%
6人	9	6%
7人	7	4%
8人	2	1%
9人以上	0	0%
無回答	1	1%
計	161	100%

問 2. 環境・エネルギー問題についてお聞きします。

(1) 石油、石炭、天然ガスなど化石燃料を使用することによって、二酸化炭素が増え、地球の温度が上昇するという『地球温暖化問題』について、どの程度関心がありますか。

<input type="checkbox"/> 非常に関心がある
<input type="checkbox"/> ある程度関心がある
<input type="checkbox"/> あまり関心がない
<input type="checkbox"/> まったく関心がない
<input type="checkbox"/> わからない

	回答数	構成比
非常に関心がある	47	29%
ある程度関心がある	96	60%
あまり関心がない	14	9%
まったく関心がない	0	0%
わからない	3	2%
無回答	1	1%
計	161	100%

(2) 石油、石炭、天然ガスなどの化石燃料には、限りがあると言われていますが、どの程度関心がありますか。

<input type="checkbox"/> 非常に関心がある
<input type="checkbox"/> ある程度関心がある
<input type="checkbox"/> あまり関心がない
<input type="checkbox"/> まったく関心がない
<input type="checkbox"/> わからない

	回答数	構成比
非常に関心がある	57	35%
ある程度関心がある	80	50%
あまり関心がない	17	11%
まったく関心がない	0	0%
わからない	5	3%
無回答	2	1%
計	161	100%

(3) 地球温暖化問題に、檜原村としてどのように取り組むべきだと思いますか。

<input type="checkbox"/> 積極的に取り組むべき
<input type="checkbox"/> ある程度積極的に取り組むべき
<input type="checkbox"/> あまり積極的に取り組まなくて良い
<input type="checkbox"/> まったく取り組まなくて良い
<input type="checkbox"/> わからない

	回答数	構成比
積極的に取り組むべき	56	35%
ある程度積極的に取り組むべき	77	48%
あまり積極的に取り組まなくて良い	13	8%
まったく取り組まなくて良い	1	1%
わからない	9	6%
無回答	5	3%
計	161	100%

問3. 新エネルギーについての認知度・関心度についてお聞きします。

(1) つぎの新エネルギーについて、あなたはご存じでしたか。該当する番号に○をつけてください。(それぞれ一つ選択)

	聞いたこともあり、 内容も知っている	聞いたことはあるが、 内容は知らない	知らなかった
太陽光発電	1	2	3
太陽熱利用	1	2	3
風力発電	1	2	3
バイオマスエネルギー	1	2	3
廃棄物エネルギー	1	2	3
温度差エネルギー	1	2	3
クリーンエネルギー自動車	1	2	3
天然ガスコージェネレーション	1	2	3
燃料電池	1	2	3
中小水力発電	1	2	3

『太陽光発電』

	回答数	構成比
聞いたこともあり、内容も知っている	89	55%
聞いたことはあるが、内容は知らない	49	30%
知らなかった	5	3%
無回答	19	12%
計	162	100%

『太陽熱利用』

	回答数	構成比
聞いたこともあり、内容も知っている	109	67%
聞いたことはあるが、内容は知らない	37	23%
知らなかった	5	3%
無回答	12	7%
計	163	100%

『風力発電』

	回答数	構成比
聞いたこともあり、内容も知っている	96	60%
聞いたことはあるが、内容は知らない	39	24%
知らなかった	7	4%
無回答	19	12%
計	161	100%

『バイオマスエネルギー』

	回答数	構成比
聞いたこともあり、内容も知っている	40	25%
聞いたことはあるが、内容は知らない	46	28%
知らなかった	55	34%
無回答	22	13%
計	163	100%

『廃棄物エネルギー』

	回答数	構成比
聞いたこともあり、内容も知っている	52	32%
聞いたことはあるが、内容は知らない	56	34%
知らなかった	35	21%
無回答	20	12%
計	163	100%

『温度差エネルギー』

	回答数	構成比
聞いたこともあり、内容も知っている	20	12%
聞いたことはあるが、内容は知らない	48	30%
知らなかった	69	43%
無回答	24	15%
計	161	100%

『クリーンエネルギー自動車』

	回答数	構成比
聞いたこともあり、内容も知っている	73	45%
聞いたことはあるが、内容は知らない	48	30%
知らなかった	21	13%
無回答	19	12%
計	161	100%

『天然ガスコージェネレーション』

	回答数	構成比
聞いたこともあり、内容も知っている	17	10%
聞いたことはあるが、内容は知らない	39	24%
知らなかった	82	51%
無回答	24	15%
計	162	100%

『燃料電池』

	回答数	構成比
聞いたこともあり、内容も知っている	51	32%
聞いたことはあるが、内容は知らない	55	34%
知らなかった	35	22%
無回答	20	12%
計	161	100%

『中小水力発電』

	回答数	構成比
聞いたこともあり、内容も知っている	45	28%
聞いたことはあるが、内容は知らない	55	34%
知らなかった	41	25%
無回答	20	12%
計	161	100%

(2) 上記、(1)の設問で、ひとつでも1または2に○をつけた方にお聞きします。その新エネルギーをどこでお知りになりましたか。該当するものすべてを選んでください。(複数選択可)

<input type="checkbox"/> 新聞	<input type="checkbox"/> 雑誌	<input type="checkbox"/> テレビ	<input type="checkbox"/> インターネット
<input type="checkbox"/> パンフレット	<input type="checkbox"/> イベント	<input type="checkbox"/> 学校・職場	<input type="checkbox"/> 人から聞いた
<input type="checkbox"/> その他 ()			

	回答数	構成比
テレビ	134	32%
新聞	102	24%
雑誌	59	14%
パンフレット	32	8%
人から聞いた	29	7%
その他	15	4%
インターネット	14	3%
学校・職場	12	3%
イベント	8	2%
無回答	6	1%
その他	12	3%
計	423	100%

(3) 新エネルギーのどのようなところに関心がありますか。(複数選択可)

<input type="checkbox"/> 外部からの供給がなくても利用でき、災害時にも使用できるから
<input type="checkbox"/> 石油などの化石燃料を節約できるから
<input type="checkbox"/> 環境への影響の少ないクリーンなエネルギーだから
<input type="checkbox"/> 太陽・風力・バイオマスエネルギーなど再生可能なエネルギーだから
<input type="checkbox"/> 国内で生産できる「国産エネルギー」だから
<input type="checkbox"/> 廃棄物の有効利用ができるから
<input type="checkbox"/> 地域振興やまちづくりが期待できるから
<input type="checkbox"/> その他()

	回答数	構成比
環境への影響の少ないクリーンなエネルギー	96	21%
外部からの供給がなくても利用でき、災害時にも使用できる	78	17%
石油などの化石燃料を節約できる	77	16%
太陽・風力・バイオマスエネルギーなど再生可能なエネルギー	67	14%
廃棄物の有効利用ができる	52	11%
国内で生産できる「国産エネルギー」	51	11%
地域振興やまちづくりが期待できる	26	6%
その他	5	1%
無回答	16	3%
計	468	100%

問 4. 檜原村が村の事業として新エネルギーを導入する場合についてお聞きします。

(1) 檜原村に適した新エネルギーとは何だと思えますか。(「導入するべきではない」を除き
3つまで選択可)

<input type="checkbox"/> 太陽光発電 <input type="checkbox"/> 太陽熱利用 <input type="checkbox"/> 風力発電 <input type="checkbox"/> バイオマスエネルギー <input type="checkbox"/> 廃棄物エネルギー <input type="checkbox"/> 温度差エネルギー <input type="checkbox"/> クリーンエネルギー自動車 <input type="checkbox"/> 天然ガスコージェネレーション <input type="checkbox"/> 燃料電池 <input type="checkbox"/> 中小水力発電 <input type="checkbox"/> 導入するべきではない	}	3つまで選択してください。
---	---	---------------

	回答数	構成比
太陽光発電	89	21%
太陽熱利用	76	18%
風力発電	54	13%
廃棄物エネルギー	45	11%
バイオマスエネルギー	40	10%
中小水力発電	37	9%
クリーンエネルギー自動車	29	7%
温度差エネルギー	14	3%
燃料電池	11	3%
天然ガスコージェネレーション	3	1%
導入するべきではない	3	1%
無回答	13	3%
計	414	100%

問 5. 新エネルギーの導入状況についてお聞きします。

(1) 新エネルギー設備の導入状況、または導入意志について該当する番号に○をつけてください。また、「導入したいとは思わない」と回答したものについては、その理由についてもお答えください。(それぞれ一つ選択)

	導入状況				導入したくない理由			
	すでに導入している	今後全額負担でも導入したい	助成金があれば、導入したい	導入したいとは思わない	コストが高い	品質・使い勝手が悪い	構造上設置できない(適さない)	その他
太陽光発電	1	2	3	4	1	2	3	()
太陽熱利用	1	2	3	4	1	2	3	()
クリーンエネルギー自動車	1	2	3	4	1	2	3	()
風力発電	1	2	3	4	1	2	3	()
中小水力発電	1	2	3	4	1	2	3	()

「導入したいとは思わない」と回答した方のみ

『太陽光発電』

	回答数	構成比
導入済み	1	1%
全額自己負担でも導入したい	2	1%
助成金があれば導入したい	65	40%
導入したいとは思わない	34	21%
無回答	59	37%
計	161	100%

	回答数	構成比
コストが高い	19	20%
品質・使い勝手が悪い	1	1%
構造上設置できない(適さない)	8	9%
その他	7	7%
無回答	59	63%
計	94	100%

【その他の回答】

- 山間の短い日照時間
- 日当たりが悪い
- メンテナンスを含めたコストパフォーマンス不明
- あまり好きでないから
- 気持はあっても年齢的に維持していくのが難しい
- 日照時間が短い
- 自宅は日照が少ない
- 高齢のため住む人が居なくなる

『太陽熱利用』

	回答数	構成比
導入済み	18	11%
全額自己負担でも導入したい	1	1%
助成金があれば導入したい	64	40%
導入したいとは思わない	31	19%
無回答	47	29%
計	161	100%

	回答数	構成比
コストが高い	10	13%
品質・使い勝手が悪い	2	3%
構造上設置できない(適さない)	8	10%
その他	9	12%
無回答	49	63%
計	78	100%

【その他の回答】

- 日照時間が少ないのが不安
- 山間で有効か分らない
- メリットがあまりない
- 日当たりが悪い
- 使い勝手が悪い
- メンテナンスを含めたコストパフォーマンス不明
- あまり好きでないから
- 気持はあっても年齢的に維持していくのが難しい

- 日照時間が短い
- 自宅は日照が少ない
- 高齢のため住む人が居なくなる

『クリーンエネルギー自動車』

	回答数	構成比
導入済み	1	1%
全額自己負担でも導入したい	7	4%
助成金があれば導入したい	44	27%
導入したいとは思わない	36	22%
無回答	73	45%
計	161	100%

	回答数	構成比
コストが高い	21	19%
品質・使い勝手が悪い	6	6%
構造上設置できない(適さない)	2	2%
その他	4	4%
無回答	75	69%
計	108	100%

【その他の回答】

- 距離多く乗らない
- 地理的条件適性不明
- あまり好きでないから
- 現在のところ適する車種がない
- 普及が少ないスタンドもない
- 現況の車との差がある
- 高齢のため住む人が居なくなる

『風力発電』

	回答数	構成比
導入済み	0	0%
全額自己負担でも導入したい	0	0%
助成金があれば導入したい	32	20%
導入したいとは思わない	53	33%
無回答	76	47%
計	161	100%

	回答数	構成比
コストが高い	12	9%
品質・使い勝手が悪い	3	2%
構造上設置できない(適さない)	25	20%
その他	12	9%
無回答	76	59%
計	128	100%

【その他の回答】

- 平均風力が不安
- 風が無い
- 使用してない
- 風が弱い
- どんな使用条件か不明

- エネルギー不足
- 電力が弱い
- 村には適さない
- 地理的条件適性不明
- 条件が悪い
- 鳥らの事故が多い
- あまり好きでないから
- 信用できない
- 気持はあっても年齢的に維持していくのが難しい
- 安定した風力が得られない
- 設置できるだけの場所がない
- 谷間なので非効率
- 風が不安定・高齢のため住む人居なくなる
- 高齢のため住む人が居なくなる

『中小水力発電』

	回答数	構成比
導入済み	0	0%
全額自己負担でも導入したい	1	1%
助成金があれば導入したい	24	15%
導入したいとは思わない	53	33%
無回答	82	51%
計	160	100%

	回答数	構成比
コストが高い	10	8%
品質・使い勝手が悪い	3	2%
構造上設置できない(適さない)	29	22%
その他	6	5%
無回答	85	64%
計	133	100%

【その他の回答】

- コストと運搬
- エネルギー不足
- 十分な水力とは思われない
- 村には適さない
- 地理的条件適性不明
- あまり好きでないから
- 気持はあっても年齢的に維持していくのが難しい
- 水量が少ない
- 高齢のため住む人が居なくなる

(2) 現在利用しているエネルギーはどれですか。用途毎に利用しているエネルギーすべてに○をつけてください。(それぞれ複数選択可)

	電気	LPガス	石油	木炭	薪・ペレット	太陽熱温水器	その他
暖房	1	2	3	4	5	6	()
冷房	1	2	3	4	5	6	()
風呂・給湯	1	2	3	4	5	6	()
炊事	1	2	3	4	5	6	()

『暖房』

	回答数	構成比
電気	101	38%
LPガス	12	4%
石油	123	46%
木炭	4	1%
薪・ペレット	10	4%
太陽熱温水器	2	1%
その他	1	0%
無回答	16	6%
計	269	100%

『冷房』

	回答数	構成比
電気	84	55%
LPガス	0	0%
石油	4	3%
木炭	0	0%
薪・ペレット	0	0%
太陽熱温水器	1	1%
その他	4	3%
無回答	59	39%
計	152	100%

『風呂・給湯』

	回答数	構成比
電気	25	11%
LPガス	40	18%
石油	107	49%
木炭	3	1%
薪・ペレット	14	6%
太陽熱温水器	17	8%
その他	1	0%
無回答	12	5%
計	219	100%

『炊事』

	回答数	構成比
電気	78	33%
LP ガス	111	47%
石油	25	11%
木炭	3	1%
薪・ペレット	2	1%
太陽熱温水器	2	1%
その他	1	0%
無回答	16	7%
計	238	100%

(3) あなたのご家庭の自動車の保有台数について教えてください。

<input type="checkbox"/> 0 台	<input type="checkbox"/> 1 台	<input type="checkbox"/> 2 台	<input type="checkbox"/> 3 台	<input type="checkbox"/> 4 台
<input type="checkbox"/> 5 台	<input type="checkbox"/> 6 台	<input type="checkbox"/> 7 台	<input type="checkbox"/> 8 台以上	

	回答数	構成比
0 台	14	9%
1 台	32	20%
2 台	43	27%
3 台	38	24%
4 台	10	6%
5 台	6	4%
6 台	0	0%
7 台	2	1%
8 台以上	1	1%
無回答	15	9%
計	161	100%

(4) あなたのご家庭のオートバイ(原動機付き自転車含む)の保有台数について教えてください。

<input type="checkbox"/> 0 台	<input type="checkbox"/> 1 台	<input type="checkbox"/> 2 台	<input type="checkbox"/> 3 台	<input type="checkbox"/> 4 台
<input type="checkbox"/> 5 台	<input type="checkbox"/> 6 台	<input type="checkbox"/> 7 台	<input type="checkbox"/> 8 台以上	

	回答数	構成比
0 台	102	63%
1 台	28	17%
2 台	4	2%
3 台	3	2%
4 台	1	1%
5 台	1	1%
6 台	1	1%
7 台	0	0%
8 台以上	1	1%
無回答	20	12%
計	161	100%

(5) 今後、新エネルギーの普及を進めていくために、村はどのような点に力を入れていく必要があると思いますか。該当するものすべてを選んでください。(複数選択可)

<input type="checkbox"/> 公共施設への率先的な導入 <input type="checkbox"/> パンフレットや広報誌などによる情報提供 <input type="checkbox"/> 講演会や施設見学会などのイベントの開催 <input type="checkbox"/> 学校における環境教育や啓発活動の推進 <input type="checkbox"/> 新エネルギーに関する情報コーナーや学習施設の整備 <input type="checkbox"/> 二酸化炭素排出規制など村独自の条例の制定 <input type="checkbox"/> 檜原村独自の助成制度の創設 <input type="checkbox"/> 相談窓口の設置 <input type="checkbox"/> その他 ()
--

	回答数	構成比
公共施設への率先的な導入	96	23%
パンフレットや広報誌などによる情報提供	48	12%
講演会や施設見学会などのイベントの開催	31	8%
学校における環境教育や啓発活動の推進	41	10%
新エネルギーに関する情報コーナーや学習施設の整備	28	7%
二酸化炭素排出規制など村独自の条例の制定	19	5%
檜原村独自の助成制度の創設	89	22%
相談窓口の設置	36	9%
その他	1	0%
無回答	21	5%
計	410	100%

問 6. 省エネルギー行動の実践状況についてお聞きします。

下の表の省エネ行動を実践しているものには『はい』、実践できていないものには『いいえ』、該当するものがない場合は『該当なし』の番号に○をつけてください。(それぞれ一つ選択)

	省エネ行動	はい	いいえ	該当無し
リ ビ ン グ	暖房は20℃、冷房は28℃を目安に温度設定をしている。	1	2	3
	電気カーペットは部屋の広さや用途にあったものを選び、温度設定をこまめに調節している。	1	2	3
	冷暖房機器は不必要なつけっぱなしをしないように気を付けている。	1	2	3
	照明は、省エネ型の蛍光灯や電球型蛍光ランプを使用するようにしている。	1	2	3
	人のいない部屋の照明は、こまめな消灯に心がけている。	1	2	3
	テレビをつけっぱなしにしたまま、他の用事をしないようにしている。	1	2	3
	こたつは敷布団と上掛け布団を使用し、温度設定をこまめに調節している。	1	2	3
キ ッ チ ン	食器洗い乾燥機を使用する時は、まとめて洗い温度調節もこまめにしている。	1	2	3
	洗いものをする時は、給湯器は温度設定を出来るだけ低くするようにしている。	1	2	3
	冷蔵庫の庫内は季節にあわせて温度調整をしたり、ものを詰め込み過ぎないように整理整頓に気を付けている。	1	2	3
	冷蔵庫は壁から適切な間隔をあけて設置している。	1	2	3
	冷蔵庫の扉は開閉を少なくし、開けている時間を短くするように気を付けている。	1	2	3
	煮物などの下ごしらえは電子レンジを活用している。	1	2	3
	電気ポットは長時間使わない時には、コンセントからプラグを抜くようにしている。	1	2	3
浴 室 ・ 洗 面 所	洗濯する時は、まとめて洗うようにしている。	1	2	3
	お風呂は、間隔をおかずに入るようにして、追い焚きをしていないようにしている。	1	2	3
	シャワーはお湯を流しっぱなしにしないように気を付けている。	1	2	3
	温水洗浄便座は温度設定をこまめに調節し、使わない時はふたを閉めるようにしている。	1	2	3

省エネ行動		はい	いいえ	該当無し
車	アイドリングはできる限りしないように気を付けている。	1	2	3
	無駄な荷物を積んだまま運転しないように気を付けている。	1	2	3
	経済速度を心がけ、急発進、急加速をしないように気を付けている。	1	2	3
	タイヤの空気圧は適正に保つように心がけている。	1	2	3
	外出時は、できるだけ車に乗らず、電車・バスなど公共交通機関を利用するようにしている。	1	2	3
その他	電気製品は、使わない時はコンセントからプラグを抜き、待機時消費電力を少なくしている。	1	2	3
	電気、ガス、石油機器などを買う時は、省エネルギータイプのものを選んでる。	1	2	3

省エネ行動	回答数				構成比			
	はい	いいえ	該当無し	無回答	はい	いいえ	該当無し	無回答
暖房は 20℃、冷房は 28℃を目安に温度設定をしている。	75	28	39	19	47%	17%	24%	12%
電気カーペットは部屋の広さや用途にあったものを選び、温度設定をこまめに調節している。	55	8	77	21	34%	5%	48%	13%
冷暖房機器は不必要なつけっぱなしをしないように気を付けている。	134	1	10	14	84%	1%	6%	9%
照明は、省エネ型の蛍光灯や電球型蛍光灯を使用するようにしている。	99	39	7	16	61%	24%	4%	10%
人のいない部屋の照明は、こまめな消灯に心がけている。	144	3	1	13	89%	2%	1%	8%
テレビをつけっぱなしにしたまま、他の用事をしないようにしている。	125	18	5	13	78%	11%	3%	8%
こたつは敷布団と上掛け布団を使用し、温度設定をこまめに調節している。	120	14	14	13	75%	9%	9%	8%
食器洗い乾燥機を使用する時は、まとめて洗い温度調節もこまめにしている。	28	6	111	17	17%	4%	69%	10%
洗いのものをする時は、給湯器は温度設定を出来るだけ低くするようにしている。	107	25	18	12	66%	15%	11%	7%
冷蔵庫の庫内は季節にあわせて温度調整をしたり、ものを詰め込み過ぎないように整理整頓に気を付けている。	99	58	2	12	58%	34%	1%	7%
冷蔵庫は壁から適切な間隔をあけて設置している。	129	25	0	8	80%	15%	0%	5%
冷蔵庫の扉は開閉を少なくし、開けている時間を短くするように気を付けている。	137	18	1	5	85%	11%	1%	3%
煮物などの下ごしらえは電子レンジを活用している。	31	109	11	10	19%	68%	7%	6%
電気ポットは長時間使わない時には、コンセントからプラグを抜くようにしている。	70	41	40	10	43%	25%	25%	6%

省エネ行動	回答数				構成比			
	はい	いいえ	該当無し	無回答	はい	いいえ	該当無し	無回答
洗濯する時は、まとめて洗うようにしている。	133	17	2	9	83%	11%	1%	6%
お風呂は、間隔をおかずに入るようにして、追い焚きをしないようにしている。	79	60	11	12	49%	37%	7%	7%
シャワーはお湯を流しっぱなしにしないように気を付けている。	108	14	30	9	67%	9%	19%	6%
温水洗浄便座は温度設定をこまめに調節し、使わない時はふたを閉めるようにしている。	68	23	58	12	42%	14%	36%	7%
アイドリングはできる限りしないように気を付けている。	115	13	15	17	72%	8%	9%	11%
無駄な荷物を積んだまま運転しないように気を付けている。	102	23	20	15	64%	14%	13%	9%
経済速度を心がけ、急発進、急加速をしないように気を付けている。	122	12	14	12	76%	8%	9%	8%
タイヤの空気圧は適正に保つように心がけている。	127	9	13	12	79%	6%	8%	7%
外出時は、できるだけ車に乗らず、電車・バスなど公共交通機関を利用するようにしている。	20	114	12	15	12%	71%	7%	9%
電気製品は、使わない時はコンセントからプラグを抜き、待機時消費電力を少なくしている。	90	57	3	11	56%	35%	2%	7%
電気、ガス、石油機器などを買う時は、省エネルギータイプのものを選んでる。	118	20	11	12	73%	12%	7%	7%

問 7. 檜原村の進める新エネルギービジョン策定について、ご意見やご質問などがございましたら、自由にご記入下さい。

- 自然にマッチしたエネルギービジョン策定を心掛けてほしい。
- 地球資源節約と地球環境を守っていくため、積極的に計画を進めていただきたい。
- 持続性のある施策を策定し、村の環境と住民の双方に理解と利益（お金ではありません）が生じるようお願いしたいと思います。
- 村としては外からの観光客用道路が整備されて荷物用大型車が多くなり、また努力している事は仕方ない事だと思われるが、排ガス等の影響が、村の売り物である大自然をこのままだと壊す事になる恐れがある事は明白である。早急に取り組んでもらいたいと思います。
- 太陽熱利用以外は現在ではまだ難しいのではないかと檜原が大好きな人間ですが子供が帰ってきて一緒に暮らしてくれたら色々考えますが、仕事がないので皆別々に暮らしているので何も考えられず困っています。
- 地球温暖化は今、非常に問題化していますが檜原においては過去の寒い時期に比べて現在は昔と違って暖かくなり、生活が容易になり良かったと思います。ただ、異常気象により大雨でも降ったらとそれが心配。新エネルギーの導入については生活合理化の上から考えたい。
- 風力発電「村自立への一要素に」という明確な目標を持って踏み出すべき。目標（1）売電を通じて、村の収益を上げる。目標（2）観光資源のひとつに、自然を大切にするという村の石のシンボルに。自然と溶け込んだ風景・景観を現出。下水道も完備されるので太陽熱利用による温水器具の普及に大いに努めてください。
- 80 過ぎた私には少し難しすぎます。もう少し若い方をお願いした方が良いと思う。
- 高所の山間地を利用した風力発電が最も有効なように思われます。太陽光熱発電 or 熱利用については日照時間の短いところは適していないのですか。知識なく良く分かりません。申し訳ありません。
- 自然エネルギーを利用できるように情報発信していただきたい。経済面でも初期投資が 10 年くらいで、もとが取れるようにしていただきたい。
- 官公庁が非常事態の時、停電などで支障のないような発電装置が必要かと思います。助成金制度を早期に創設して欲しい。
- アンケートをとる前に別紙のエネルギー概要の設置条件、コスト面等の説明、詳細提示が必要。説明不足。ご苦勞様です。
- 風力発電：常時 5m 以上の風力を必要とするとの事であり、無理。バイオマス：とても採算がとれない。廃棄物：当村ではそれだけの焼却場が無い。太陽光発電が最も有効であると思いますが、日照の問題を考える必要がある。そして多少の負担は承知のうえ、村の公共施設で使用するくらいの電力を精算することを目標としたい。そして村をアピールする。
- 個人の場合は、設備費＋耐用年数を考えると経済的に大変。
- 尾根の木を切る、低木を植樹。サル、熊、猪、ハクビシン、まるで動物園。老後、畑をして楽しく遊ぶつもりが、サルのエサを作っているようです。サルの数を「コサカンにサルがいたよ」と言われるくらい駆除してほしい。サルが住める森を作り、人間と仲良く住めるように。それが温暖化にも助けになるのでは？
- 住民がより良く生活できるように検討してほしい。住民の負担を軽くして欲しい。
- 二酸化炭素等考え、村内の家庭内でゴミ等燃やしている現状を把握して欲しい。
- 当面は①情報収集、特に檜原に似た「村」の好例の紹介等②上記「ライフスタイルチェック」のようなもの、檜原に特化したものを作成し、関心度と行動面に対して日常的にアプローチを。③上記②と

同時に直接エネルギーとは結びつかないと思いがちですが、環境にどれだけ「自分がやさしいか」行動面、思考面の「自己チェックリスト」を作成して見ては？例えば合成洗剤、川を汚せば水道コストが上昇（エネルギーを使うことになります）するでしょう。④問5の(5)に前述したように住民の目線でモノを見てあまり力まないで取り組んでみては如何（論理的思考力と豊かな発想力を学ぼう）。檜原は山林が多いのでマキストーブを使用するように、村で推進すればよいと思う。炊事、風呂は40年以上電気とガスを使用しているので、太陽光発電が格安にできれば設置してみたいと思っています。

- 希望する家庭に助成金をつけて太陽光発電を実施したら良いと思います。
- 山間部に適したシステムで今導入する事は良いことだと思う。
- 十分検討され、策定を願う。
- ①村内山林で荒れている杉、桧の植林地の間伐を進めて、その材はバイオマス資源とする。花粉症を減らすことにもなるのではなかろうか。②村内を走る採石会社のダンプカー（トラック）はすべてクリーンエネルギーを使用させるべきである。③村の特産品「ジャガイモ」からガソリンの代用品は作れないのか？15年ほど前、「クイズ世界はSHOW by ショーバイ」という番組コーナーで「ポテトガソリン」として車に給油しているのを見たことがあります。村でとれたジャガイモからも何か価値あるエネルギーの材料が生まれるかもしれません。
- 環境問題は、哲学だと思っている。何をすれば環境にやさしいか言うことではなく、総合的にみてどうかということだと思う。その人の生きざまである。村として、環境問題に取り組むとすれば、長期的に見て村の生きざまを示すべきだ。新しいもの、話題になっているものを導入するのではなく、村の中でムダになっている（している）もの、たとえば木材とか廃棄物を利用することから始めることが大切だと思う。
- 役場指導のもと、皆で考えられる環境を。
- アンケートの結果は公表してください。
- 設問の途中にもありましたが、これらの策定については公共施設へ導入することによって村民にアピールすることが大切ではないかと思います。
- エネルギー問題だけでなく、村のランドデザインをきちんと描いたうえで整合性のある施策を行って欲しい。エネルギーに関しては山村なのでバイオマス→メタノール→水素→燃料電池というシステムが将来的にも一番良いと思う。（車とともに家庭用の燃料電池も実用レベルに達している）
- 村の中にあるもの・・・例、山・川・植物などを利用してください。
- 地形的に難しいと思うが山頂等に風力発電の設置が望ましいと思う。（他県ではかなり前から実施している）

資料3. 先進地調査

1. 概要

(1) 日時

平成 18 年 12 月 5 日(火)

(2) 視察場所

■西川地域木質資源活用センター(もくねん工房)

対応者：西川地域木質資源活用センター 事務局 白井 義人

■利平茶屋森林公園小水力発電

対応者：桐生市 黒保根支社 地域振興整備課 産業係 深沢 明男

(3) 参加者

役 職	氏 名	備 考
村 長	坂本 義次	庁内専門委員長
助 役	鈴木 留次郎	庁内専門委員
ふれあい課長	吉本 昂二	庁内専門委員
都民の森所長	峰岸 茂	庁内専門委員
教育委員会係長	幡野 一男	
企画財政係長	小林 泰夫	
環 境 係 主 事	田中 聡	
総合窓口課長	数馬 守	策定委員
産業環境課長	高取 弥三郎	事務局
産 業 係 長	野村 雅巳	事務局
産 業 係 主 事	中村 廣行	事務局

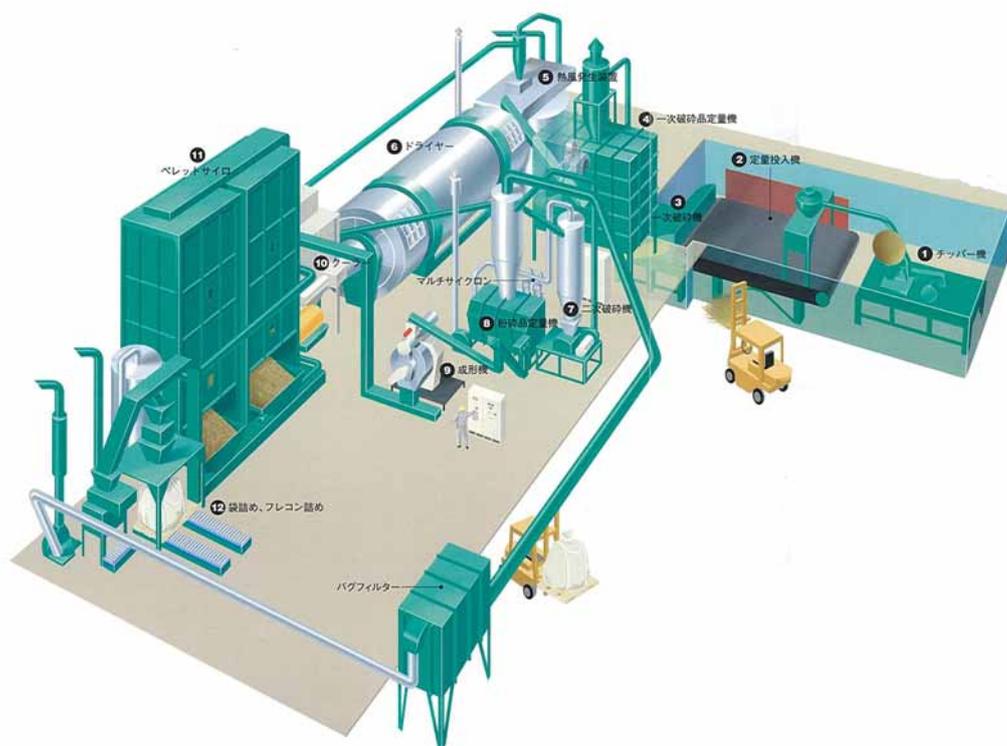
2. 視察報告

(1) 西川地域木質資源活用センター(もくねん工房)

- 当施設は、近隣の製材工場等 29 社が協同組合西川地域木質資源活用センター『もくねん工房』として設立したもので、近隣約 20 の製材工場から発生するバークをボイラーやストーブの燃料に利用することが出来るバークペレットを製造する工場です。
- 以前は、製材工場から発生するバークは自前の焼却施設等で焼却処分されていましたが、直接燃焼の禁止に対応すべく建設されました。バークの処理方法として、堆肥化という案もありましたが、バークは腐りにくく堆肥には不適なこと、今後、全国的に堆肥の生産量が増加し安定した供給先の確保が難しくなることが予想されること、が課題として考えられたためバークの燃料化に踏み切りました。
- 現在では、全国 20 箇所程度のペレット製造工場がありますが、当施設は 2003 年 5 月に全国で 5 番目に建設されたペレット製造工場です。
- 当施設と同等規模の施設を建設した場合、建設費は約 1 億 5 千万円程度です。
- 現在、ペレットの年間生産量は約 500 トンですが、設備能力は 1,000 トンです。
- 当施設にバークを持ち込む製材工場は約 20 で、逆有償で受け入れています。
- ペレットの比重は 0.6t/m³、販売価格は小口が 40 円/kg、大口が 32 円/kg です。
- 施設内には、ペレットを燃料とした木材乾燥機が 2 台あり、近隣の製材工場が利用しています。
- 運転員は 2 名で、運転時間は 8h/日程度です。
- バークペレットは、専用のボイラー、あるいはストーブが必要となることから、供給先が限定されます。
- 当施設の建設とあわせて、名栗にあります温泉施設『さわらびの湯』が、ペレットボイラーを導入する計画がありましたが、このペレットボイラーの導入が遅れたため、設立当初の 1 年間は全くペレットが売れない状況にありました。
- 現在は、『さわらびの湯』と埼玉県吉見町の『フレンドシップハイツよしみ』の合計 2 基のペレットボイラーが安定してペレットを利用していることから、ペレットの生産が間に合わないほどです。
- 埼玉県ではペレットストーブの普及を目指し、導入費の半額を補助しています。
- これにより、一般家庭等への普及も少しずつ進んでおり、一般家庭等へも供給しています。
- ペレットストーブは埼玉県内のメーカーがバークペレット用に開発したもので、価格は 30 万円前後、操作は石油ファンヒーター並みで自動運転が可能です。
- 原料のバークには、こぶし大程度の石が含まれることがあり、人間が手で選別しながら機械に投入するといった手間が発生しています。
- ロータリーキルン式のボイラー、燃料は生成したペレットを利用しています。(点火時に灯油を利用)
- ペレットは重く、かさばる安い商品のため、利用施設が遠方では事業として成立する

のは難しいといえます。

- ペレットの製造工程に原料乾燥にペレットを燃料として利用していますが、その割合は生産量の約8%程度です。
- 当施設は、中間処理業者ですが、この割合が高くなると産業廃棄物の焼却処分場なるため、注意が必要です。
- 製造原価にかかる主なものとしては、電力、設備の減価償却費、人件費です。
- ペレットを製造するときの含水率は13%程度で、これ以上でもこれ以下でも良質なペレットは製造できません。
- 従って、ペレットの製造には高い専門技術が要求されます。
- 以前、ホワイトペレットの試験的に製造したことがありますが、現状の設備では効率が悪いので、本格的にホワイトペレットを製造するには設備の変更が必要となります。
- 『フレンドシップよしみ』では、現在、灯油価格よりも安くペレットの購入が出来るため、ボイラーの運転時間を拡大することが出来たという。
- ペレット安定供給協議会で、東日本全体のペレットの安定供給を図っている。
- ペレット以外の予想外の製品として、一次破碎したバークがあります。
- 東京競馬場では、梅雨時期に芝をはがすそうですが、一次破碎したバークが芝をはがした後の土とよく絡むとのことから、一次破碎したバークを東京競馬場に供給したことがあります。



出典：パンフレット

バークペレット製造工場のイメージ

	<p>【概要説明の様子】</p>
	<p>【バークの投入風景】</p> <p>こぶし大程度の石等が含まれることがあるため、選別しながら人力で投入しています。</p>
	<p>【一次破碎機】</p> <p>投入されたバークをハンマーで叩いて粉碎します。</p>
	<p>【成形機】</p> <p>含水率が 13%程度まで乾燥した粒状の原料を、加圧してペレットに成形します。機械はデンマーク製。</p>

	<p>【ペレット】</p> <p>ペレットは近隣の温泉施設、一般家庭に販売しています。販売価格は次の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小口：40 円/kg ・大口：32 円/kg
	<p>【バークペレットの貯蔵庫】</p>
	<p>【木質乾燥機】</p> <p>製材用木材を乾燥させるもの。近隣の製材工場の方が利用しています。燃料はバークペレット。</p>
	<p>【バークの輸送状況】</p> <p>近隣の製材工場からバークが運ばれてきた様子。バークは逆有償で受け入れています。</p>

(2) 利平茶屋森林公園小水力発電

- 当該設備は、桐生市の利平茶屋森林公園にある小水力発電です。
- 利平茶屋森林公園は、昭和 62 年に完成したキャンプ場で、バンガローを中心とした夏期滞在型施設で広さは約 145ha あります。
- この小水力発電システムは、林野庁の「むらづくり維新森林・山村都市交流事業共生事業」の補助金を受け、東京電力との協力のもと環境教育の一環とした【見せる発電所】として 2004 年 3 月に建設されました。
- 水源は近傍を流れる鳥居川の上流に位置する治山堰堤から取水した河川水を利用しており、落差は約 70m、水圧管路は 200φ、恒長 455m となっています。
- 今のところ、大きなトラブルはなく順調に運転を継続しています。
- 発電した電気は、公園内の管理棟やバンガローの照明等に利用し、夜間や冬期の閉園時は東京電力に売電(売電単価は約 8 円/kWh)しています。
- 建設費用は、治山堰堤を含まず約 2,000 万円で、年間のメンテナンス費用は約 30 万円です。
- メンテナンス費用 30 万円の内、約 25 万円が電気主任技術者の人件費、残りがグリスなどの費用となっています。

機種	オーストリア製
	マイクロ水力発電機 P T O 9 - V 4
仕様	1. タービン
	・ハウジング：鋳鋼（G G G 5 0）
	・入口フランジ：D N 2 0 0
	・ランナー：ペルトン型、アルミ合金、ピッチ径 3 1 5 mm
	・ノズル：4 本 2 8 mmφ（最大）、手動、アルミ製
	2. 駆動部
	・駆動方法：ベルト
	・回転数：プーリー径は有効落差に調整
	3. 発電機
	・タイプ：自励磁非同期発電機、A V R 内臓
	・出力：3 相 4 0 0 V 2 2 kW
	・年間発電電力量：10 万 kWh（一般家庭約 30 世帯分の消費電力に相当）
	4. 制御盤
・タイプ：屋内仕様、タービンに取り付け	
・保護装置：O V R、O C R、E L C V、M C C B（出力）	

	<p>【発電所小屋】</p> <p>発電設備は、小屋の中に納められており、 景観と発電機の騒音に配慮されています。</p>
	<p>【配管】</p> <p>小屋の裏側には、配管が露出しています。</p>
	<p>【発電機】</p> <p>オーストラリア製の発電機。価格は600万円 で国産品の約半額程度とのこと。</p>
	<p>【モニター】</p> <p>現在の発電状況を表示するモニター。視察 時は、定格出力22kWに対して15.3kWの発電 出力でした。</p>

	<p>【治山堰堤】</p>
	<p>【堰堤取水口】</p> <p>配管は堰堤取水口。下流の水力発電機まで敷設されています。</p>
	<p>【取水治山堰堤の全景】</p>

資料4. 助成金制度

1. 地域新エネルギービジョン導入促進事業

(1) 対象事業者

- ・ 地方公共団体及び非営利民間団体

(2) 補助率

- ①新エネルギー設備導入事業
1/2 以内(又は 1/3 以内)
- ②新エネルギー普及啓発事業
定額(単年度 500 万円を上限)

(3) 交付要件

太陽光発電	・太陽電池出力：10kW以上
風力発電	・発電出力：500kW以上 ・風況調査 1. 風況観測の期間は1年間以上であること 2. 風況観測の地点は、単基の場合風車の設置地点、複数基の場合は当該地域の代表的な風況特性を取得できることを原則とする
太陽熱利用	・有効集熱面積：100㎡以上 ・省エネ率：10%以上(空調用途の場合)
温度差エネルギー	・熱供給能力：6.28GJ/h(1.5Gcal/h)以上 ・省エネルギー率10%以上又は総合エネルギー効率率80%以上
天然ガスコージェネレーション	1. 高効率天然ガスコージェネレーション設備 ・発電出力：10kW以上(単基の発電出力は3,000kW未満) ・省エネルギー率：①10kW以上500kW未満：10%以上、②500kW以上：15%以上 2. 天然ガスコージェネレーション活用型エネルギー供給設備(地域熱供給、特定電気事業等) ・設備能力：温・冷熱供給量41.86GJ/h(10Gcal/h)以上 ・省エネルギー率5%以上 ・天然ガスコージェネレーションへの排熱依存率40%以上
燃料電池	・発電出力：50kW以上 ・省エネルギー率：10%以上
廃棄物発電	・廃棄物依存率：60%以上
廃棄物熱利用	・エネルギー回収率：60%以上
バイオマス発電	・バイオマス依存率：60%以上 1. 蒸気タービン方式 ・発電効率：10%以上 2. その他の発電方式 ・発電効率：20%以上 ・発電出力：10kW以上
バイオマス熱利用	1. バイオマス利用型製造設備 ・バイオマス熱利用量：高炉の場合12.56GJ/h(3Gcal/h)以上 セメントキルンの場合25.12MJ/h(6,000kcal/t)以上 2. 熱供給設備 ・バイオマス依存率：60%以上 ・バイオマスから得られ、利用される熱量：1.26GJ/h(0.3Gcal/h)以上 3. バイオマスコージェネレーション設備 ・バイオマス依存率：60%以上 ・発電出力：10kW以上 ・省エネルギー率：10%以上
バイオマス燃料製造	1. メタン発酵方式 ・ガス製造量：300N ³ /日以上 ・発熱量：18.84MJ/N ³ (4,500kcal/N ³)以上 2. メタン発酵方式以外 ・バイオマス依存率：60%以上 ・エネルギー回収率：50%以上 ・発熱量：固形化 12.56MJ/kg(3,000kcal/kg)以上 液化 16.75MJ/kg(4,000kcal/kg)以上 ガス化 4.19MJ/kg(1,000kcal/N ³)以上
雪氷冷熱	冷気・冷水の流量を調節する機能を有する設備であって雪氷熱の供給に直接的に供される設備に限る
クリーンエネルギー自動車	・車種：電気自動車(ハイブリッド自動車を含む)、天然ガス自動車 ・台数：乗用車5台相当以上

(4) 窓口

NEDO

2. 新エネルギー事業者支援対策事業のうち債務保証

(1) 対象事業者

民間企業等

(2) 補助率

1/3 以内(風力発電、天然ガスコージェネレーション及び廃棄物エネルギーについては、補助率が異なる場合がある)

(3) 債務保証

債務保証枠：基金の 15 倍

保証範囲：対象債務の 90%

保証料率：保証残高の 0.2%

(4) 窓口

NEDO

3. 中小水力発電開発費補助金補助事業

(1) 対象事業者

電気事業者、自家用発電所設置者

(2) 補助率

- | | |
|----------------------------|----------------|
| ①・出力が 5,000kW 以下 | 1/5 以内 |
| ・出力が 5,000kW 超 30,000kW 以下 | 1/10 以内 |
| ②・出力が 5,000kW 以下 | 出力増加割合以内 |
| ・出力が 5,000kW 超 30,000kW 以下 | 出力増加割合の 1/2 以内 |
| ③新技術を導入した部分 | 1/2 以内 |

※①については経済性の低い事業、RPS 法認定設備に係る事業は 1/10 割増の特例措置が適用。

※②については RPS 法認定設備に係る事業は 1/10 割増の特例措置が適用。

(3) 窓口

NEDO

4. 太陽光フィールドテスト事業

(1) 対象事業者

民間企業、各種団体等(地方公共団体を含む)

(2) 補助率

1/2 相当

(3) 交付要件

太陽電池の合計出力が 10kW 以上(建材一体型は 4kW 以上)で具体的な太陽光発電システムの設置計画を有する者

(4) 共同研究期間

設置年度を含めて5ヶ年間

(5) 窓口

NEDO

5. 風力発電フィールドテスト事業(高所風況精査)

(1) 対象事業者

民間企業、各種団体等(地方公共団体を含む)

(2) 補助率

1/2 相当

(3) 観測システム仕様

観測地点毎に、以下の2タイプの観測システムから選定の上実施する。観測タワーの種別は問わない。

(4) 共同研究期間

複数年度(約15ヶ月間)契約

(5) 調査内容

- ・ 風速
- ・ 風向
- ・ 事業性評価

(6) 窓口

NEDO

6. 太陽熱高度利用システムフィールドテスト事業

(1) 対象事業者

太陽集熱器の合計面積(有効集熱面積)が20㎡以上、又は通常利用形態とは異なるもので実証の優位性を有するシステムの設置計画を有する者

(2) 補助率

1/2 相当

(3) 対象事業

①高度利用実証枠

新たな用途や形態での実証を通じて普及拡大につながることを目指すもの

②標準化枠

標準化を目指したシステムの実証を通じて普及拡大につながることを目指すもの

(4) 共同研究期間

設置年度を含め5年間又は6年間

(5) 窓口

NEDO

7. 地域バイオマス熱利用フィールドテスト事業

(1) 対象事業者

企業、地方公共団体、公益法人等の法人

(2) 補助率

1/2 相当

(3) 対象エネルギー

- ・ バイオマスエネルギー
- ・ 木質、食廃、畜糞、汚泥等

(4) 対象利用システム

① ユーザー系熱利用モデルフィールドテスト

- 1) 木質系バイオマス中小規模直接燃焼システム
- 2) 木質系バイオマスコージェネ型システム
- 3) 鶏糞燃焼システム
- 4) 食品系バイオマスエネルギー化システム
- 5) 燃料化システム(木質・食廃・畜糞・汚泥)

② 新規エネルギー利用技術フィールドテスト

- 1) 新規技術導入システム
- 2) 従来に比べて低コスト化・高効率化を期待できるバイオマスエネルギー利用システム等

(5) 共同研究対象事業

目に見える形でのバイオマス熱利用導入事例を創出するとともに、事業を通じて技術の有効性を実証し、長期的に運用できるシステムの構築・低コスト化/高性能化などの普及に資するものを対象とする。

(6) 共同研究期間

- システム設置 : 原則単年度
運転データ等収集 : 設置後 2 年間

(7) 窓口

NEDO

8. バイオマスの環づくり交付金

(1) 事業内容

地域で発生・排出されるバイオマス資源を、その地域でエネルギー、工業原料、材料、製品へ変換し、可能な限り循環利用する総合的利活用システムを構築するため、バイオマスタウン構想の策定、バイオマスの変換・利用施設等の一体的な整備等、バイオマスタウンの実現に向けた地域の創意工夫を凝らした主体的な取組を支援する。

(2) 対象事業者

① ソフト支援

市町村、農林漁業者の組織する団体、第3セクター、消費生活協同組合、事業協同組合、NPO法人、食品事業者、食品廃棄物のリサイクルを実施する事業者、バイオマスタウン構想書を策定した市町村が必要と認める法人

② ハード支援

都道府県、市町村、農林漁業者の組織する団体、PFI事業者、共同事業体、第3セクター、消費生活協同組合、民間事業者等

(3) 補助率

定額

(4) 窓口

各地方農政局

9. 広域連携等バイオマス利活用推進事業

(1) 事業内容

食品事業者等が都道府県の行政界を越えて行う、広域的な食品廃棄物等のバイオマスの利活用の推進についての以下の取り組みを支援。

1) 関係者間におけるバイオマス利活用の協働体制の構築

協働体制構築に必要な協議会の設置・開催、普及啓発活動等への支援。

2) バイオマス利活用プランの策定

経済性、持続性の高いバイオマス利活用プラン策定等への支援。

3) バイオマスの生産・収集・運搬システム構築

バイオマスの特性に応じた利活用システムの開発、機器整備等への支援。

4) バイオマスの変換技術・利用促進支援

先駆的な変換技術の導入やバイオマス由来製品の利用促進等への支援。

5) 資源作物等の実用化支援

資源作物、食品廃棄物等のバイオマスを原料としたバイオディーゼル燃料等製造システムの構築等への支援。

(2) 事業実施主体等

- 1) 事業実施主体：消費生活協同組合、事業協同組合、NPO法人、食品事業者、食品廃棄物のリサイクルを実施する事業者

2) 補助率：1/2 以内

3) 事業実施期間：平成 18 年度～平成 22 年度

(3) 窓口

農林水産省

10. 強い林業・木材産業づくり交付金

(1) 事業内容

木質バイオマスの一層の利用促進を図るためには、木質バイオマスの安定的で低コストな生産と年間を通じた利用を確保する必要があることから、木質バイオマスをエネルギー及び製品の原料として総合的に利活用する体制を整備する。

1) 林地残材利活用機材

林地残材等の収集・運搬の効率化に資する機材などの整備を行う。

2) 木質バイオマス供給施設

未利用木質資源をバイオマスエネルギーとして利活用するチップ製造施設、バイオマス発電施設、熱供給施設、ペレット製造施設等の木質バイオマスエネルギー供給施設に加え、製品の原料として利活用する木材成分抽出利用施設、木質系粗飼料製造施設等の木質バイオマス製品供給施設の整備を行う。

3) 木質バイオマスエネルギー利用施設

公共施設等において木質バイオマスを燃料として利活用するために必要な施設の整備及び貸付用ペレットストーブの導入を行う。

(2) 事業主体

都道府県、市町村、森林組合、森林組合連合会、その他各種団体等

(3) 補助率

定額(1/2、1/3)

(4) 事業実施機関

平成 17 年度～平成 21 年度

(5) 窓口

林野庁

11. バイオマスエネルギー導入加速化戦略（石油特会）

(1) 事業の概要

バイオマスエネルギーの導入加速化を強力に推進するため、バイオエタノール等輸送用エコ燃料の大都市圏及び沖縄県宮古島等における大規模導入を始め、多様なバイオマスエネルギーの利用促進に係る施策を大々的に展開する。また、地球温暖化対策に貢献し、バイオマスエネルギーの利用促進に資する基盤的な技術開発についての支援を行う。

(2) 事業計画

①地球温暖化対策技術開発事業

木質バイオマスのエネルギー利用技術の開発、E10 への対応促進のための技術実証等を進めるため、公募により選定した民間企業等に委託又は補助して技術の開発・実証を進める。

②再生可能エネルギー高度導入地域整備事業

バイオマスエネルギー等の再生可能エネルギーを集中的に導入するモデル地域の整備に係る補助を行う。

(3) 補助率

1/2

(4) 事業主体

民間事業者等

(5) 窓口

環境省

12. ソーラー大作戦

(1) 事業の概要

太陽光発電に係る新たなビジネスモデルを提示する事業等を引き続き着実に展開するとともに、新たにアジアの途上国への新エネルギー・省エネルギー技術の普及促進のための調査・検討等を行う。

(2) 事業計画

①ソーラー・マイレージクラブ事業

住宅からの CO₂ 排出の削減に取り組む地域協議会等に、太陽光発電等に係る普及啓発活動等の事業を委託し、地域ぐるみでの CO₂ 削減を支援する。

②街区まるごと CO₂20%削減事業

住大規模宅地開発の機会をとらえて、太陽光発電等を導入した省 CO₂ 住宅を街区全体に整備した新たな宅地開発モデルを構築する。

・補助先 民間企業

・補助率 1/2

③メガワットソーラー共同利用モデル事業

地域で 1 MW 級の大規模太陽光発電の施設を導入し、電力を地域の需要家が共同利

用するビジネスモデルを構築する。

- ・補助先 民間企業
- ・補助率 40万円/kW

④再生可能エネルギー高度導入モデル事業

太陽光発電を含む再生可能エネルギーを組み合わせ導入し、地域で高度なCO₂削減を達成するモデルを構築する。

- ・補助先 民間企業
- ・補助率 1/2

⑤地方公共団体率先対策導入事業

地方公共団体の施設において太陽光発電設備等の率先導入を図る。

- ・補助先 地方公共団体
- ・補助率 1/2

⑥学校エコ改修事業

全国のモデルとして小・中学校等において太陽光発電設備の導入を含むエコ改修事業を行い、校区ぐるみの環境教育を推進する。

- ・補助先 地方公共団体
- ・補助率 1/2

(3) 窓口

環境省

13. 廃棄物処理施設整備費（循環型社会形成推進交付金等）

(1) 事業の概要

市町村等が、廃棄物の3R（リデュース、リユース、リサイクル）を総合的に推進するため、市町村の自主性と創意工夫を活かしながら広域的かつ総合的に廃棄物処理・リサイクル施設の整備を推進することにより、循環型社会の形成を図ることを目的とする。

- ①高効率原燃料回収施設（バイオガス化施設）の推進
- ②地球温暖化対策のためのエネルギー回収能力の増強
- ③漂着ごみ対応のための処理施設の増強
- ④地域のバイオマス利用促進

(2) 補助率

1/3

(3) 事業主体

市町村

(4) 窓口

環境省

14. 廃棄物処理施設における温暖化対策事業（石油特会）

(1) 事業の概要

市廃棄物処理業を主たる業とする事業者等が行う高効率な廃棄物エネルギー利用施設及び高効率なバイオマス利用施設等の整備事業（新設、増設又は改造）であって、一定の要件を満たすものについて、これに伴う投資の増加費用に対して補助を行うものである。

(2) 対象となる事業

- ① 廃棄物発電施設、バイオマス発電施設整備事業
- ② 廃棄物熱供給施設、バイオマス熱供給施設整備事業
- ③ 廃棄物燃料製造施設、バイオマス燃料製造施設整備事業
- ④ バイオマス改質燃料利用施設整備事業
- ⑤ ごみ発電ネットワーク事業
- ⑥ 熱輸送システム事業

(3) 補助率

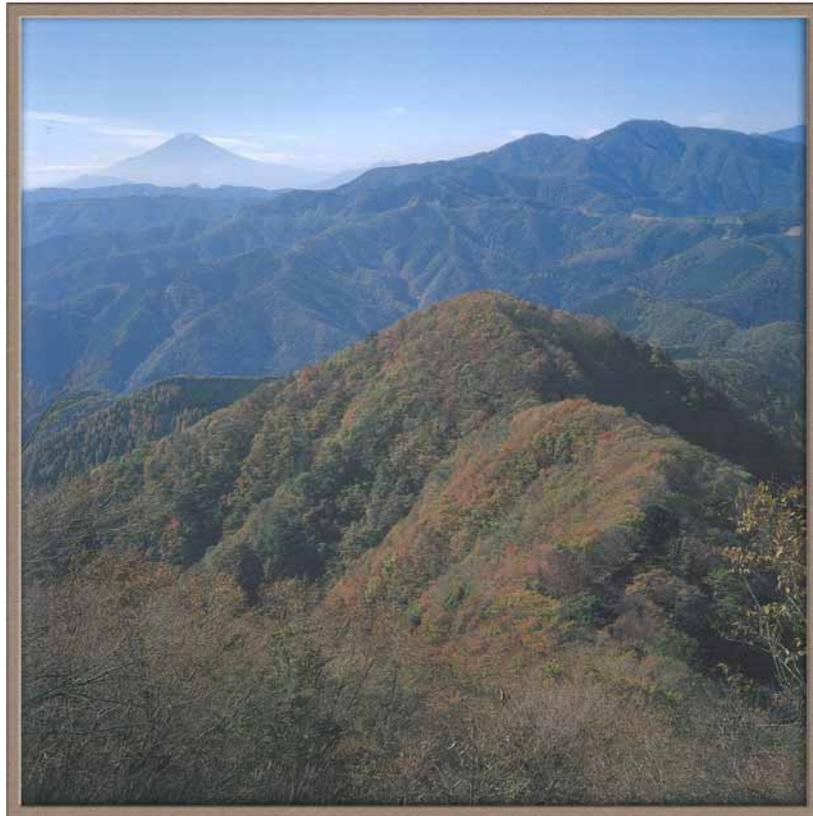
1/3

(4) 事業主体

民間事業者等

(5) 窓口

環境省



【お問い合わせ先】

檜原村役場 産業環境課 産業係
〒190-0212 東京都西多摩郡檜原村 467 番地 1 号
TEL : 042-598-1011 (代)
FAX : 042-598-1009



森と清流を蘇らせ
未来に誇れる活力のある村

写真提供(表紙・裏表紙) : 石塚岩男氏